



大久保 帝二 議員

問 今後の公共交通のあり方は 答 町にふさわしい公共交通システムを検討していく

問 運行費削減等の条件を提示し、これからの町の公共交通についてお伺いします。

町長 現在の路線バス五霞、幸手駅間の利用状況につきまして、平日17便、日曜、祭日が10便で、平成23年度が54、465人と前年度より2、263人の減、これは昨年の東日本大震災の影響で、いろいろな催しが中止になった影響かと思われます。また、町として唯一の路線バス運行維持のための経費として、平成23年度は、1、356万円を助成しております。

このような中、昨年度は五霞町地域公共交通会議を組織しました。総務課長 昨年の11月から12月にかけて、乗降調査を4日間実施しました。五霞町役場から幸手駅までの各停留所ごとの利用者は1日当たり160人弱、1便当たり9人でした。

また、お年寄りや身障者の方が利用しやすいノンストップバスの導入も検討課題となります。

総務課長 町の公共交通会議では、現在の路線バスを軸として、住民の誰もが利用できる公共交通の提供を目指し、五霞町にふさわしい公共交通システムの検討をしております。

この路線バスに対する費用負担の抑制策として朝日自動車の方で、平成25年度から補助金が受けられるよう国、県へ申請手続きをしております。町では長年、公共交通を利用できない地域が多く存在し、今後、ますます高齢化が進む中で、車を手離すなど生活が不自由になる方が多くなります。



問 交通空白地等における循環バスの導入は、日常の買い物や医療機関の受診などのために待ち望まれているが、検討の経緯についてお伺いします。

町長 今後、役場まで来ている路線を南栗橋までということも含めて見直しをしなければなりません。

問 ごみ処理の現状は

町長 五霞町におきましては、境町、古河市、坂東市、五霞町、の4市町で構成する「さしま環境管理事務組合」で共同処理を行っております。ごみ処理については町単独ではなく、組合一体となつて進めております。ごみの有料化については、昨年度、管内4市町の有料化検討委員会を立ち上げ検討しております。また、第2火曜日に回収する紙類の資源ごみは回収業者へ売却を行っております。その利益として平成23年度以降、年額130万円余りを町の財源として歳入しております。

問 今後のごみ処理対策は

答 ごみ有料化も含め

建設環境課長 平成23年度に組織化された有料化検討委員会で、平成25年10月を目途に有料化に係る検討を行っております。資源ごみの回収の成果について環境課長 ごみの出し方の周知徹底を図るため平成23年度から全世帯に五霞町ごみ収集カレンダーを発行することで、分別に協力を得ながら資源のリサイクルや再資源化が進んでいる状況です。集積場の他、資源ごみ回収協力団体として、五霞東・西小・中学校・サークルのぞみ・原宿台子供会の5団体があります。売却利益が団体の活動費の一部として充てられるほか、1キロ当たり5円補助金が組合から支給されております。今後、資源ごみの分別と、再資源化が一層図られますよう、周知啓発に努めたいと考えております。



さしまクリーンセンター寺久